

未来社会の中核的存在となる「インターメディエーター」。異なる世界の「あいだ」に立ち、さまざまな次元で異なる領域を媒介し、対話と協働をうながすモノやヒト。あらゆる「あいだ」から両側を活かし、新たな需要と未来を創り出す存在です。今回、東京・鳥居坂 国際文化会館にて、初のフォーラムを開催します。

2017. 2. 19 [日]

Intermediator Forum 2017

Welcome to IMF

- ビジネスを含め、およそ人間の共同社会は「関係の網の目」の中で成立しています。ですが、いま組織・社会・自然の網の目も、いたる所が切れ切れになっています。
- だからこそ、その「あいだ」に立って、破壊され、毀損され、失われたリンクの数かずを修復、再生、再創造するモノヤヒトが必要です。こうした「あいだの知」を担う媒介役を「インターメディエーター（intermediator）」といいます。誰かの上前に立とうとする“強いリーダー”ばかりを探し求める人にとっては、じつに見えにくいタイプの人びとです。
- しかし新たな需要が生まれ、社会や歴史が動き出すプロセスには、異なる領域を媒介し、互いの違いを十分認めながら「対話と協働」を促進し、それまでにない変化を起こす人たちが躍動してきました。その意味で、新たな未来はつねに、あいだから生まれてきました。
- 当日は、キーノート、ケース、オープン・ダイアログを通じて、「インターメディエーター」というこれからの役割をご案内し、お一人お一人のご活動にさらに弾みをつけるきっかけにさせていただけたら幸いです。それぞれの領域がかかえる手詰まりを超え、新たな展開をめざす方々にお越しいただきたいと思っています。

設 楽 剛 (Tsuyoshi Shidara, Ph.D.)

設楽剛事務所 代表、慶應義塾大学 博士〔政策・メディア〕
慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員

Schedule

2017. 2. 19

13:00 開場

13:15 集合

13:40 - 14:45 Keynote Speech & Dialogue

インターメディエーター時代のはじまり

設楽 剛

14:50 - 15:50 Session 1

「見えない多様性をインターメディエイトする」

┃ケース1 神山 伸一

┃ケース2 松原 朋子

ポリフォナイザー 設楽 剛

16:00 - 17:00 Session 2

「地域の複雑さをインターメディエイトする」

┃ケース1 富永 一夫

┃ケース2 星野 晃一郎

ポリフォナイザー 設楽 剛

17:00 - 18:00 Dialogue & Polyphony

参加者相互、またスピーカーを交えた

オープン・ダイアログとまとめ（多声的に）

18:15 - 19:30 Symposium（対話と懇親の場）

Intermediators (Speakers of the Day)

神山 伸一（こうやま しんいち）

公益財団法人 小平市文化振興財団 事業課長／小平市地域振興部 参事。「文化と経済を切り離さない」という発想のもと、世代・地域・立場を超えた交流の場づくりを積極的に推進。

富永 一夫（とみなが かずお）

特定非営利活動法人 NPO フェージョン長池 会長。総務省人材力活性化研究会 副座長。国土交通大学校および自治大学校 講師。著書に『NPOの後継者』など。国土交通大臣賞 受賞。

星野 晃一郎（ほしの こういちろう）

株式会社ダункソフト 代表取締役 C.E.O. デジタルアーキテクト。東京ニュービジネス協議会 理事会員ネットワーク委員長ほか。経済産業省、厚生労働省、総務省等より受賞多数。

松原 朋子（まつばら ともこ）

設楽剛事務所 共同代表。社長直属の部門にて、日本マイクロソフトの企業市民活動（CSR・CSV）および CSR コミュニケーションを統括後、現職。総務省委員等を歴任。第3回日経ソーシャル・イニシアチブ大賞ファイナリスト受賞。

設楽 剛（しだら つよし）

設楽剛事務所 代表、慶應義塾大学 博士〔政策・メディア〕、慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員。革新型経営者のアドバイザー。対話的に未来構想を描くナラティブ・アプローチを重視。新たなビジネス・パラダイムの導入・形成に取り組む。

Intermediator Forum 2017